



ippo(いっぽ)

【研究主題】 キャリア教育の視点で小・中・高を貫く教育課程の編成
～学部間をつなぐ仕組みを活かした取組～

・・・年間指導計画の見直しを・・・

まもなく、ワーキンググループによる年間指導計画の検討が一通り終わります。意見交換を通して、さっそく大幅改善に着手した学年も見られます。全ての学年・学習グループにおいて、明らかになったことや改善することがあったことと思います。ぜひ、今回の検討を生かして、夏季休業中に指導者間で年間指導計画の評価と見直しをしてみましょう！

・・・ワーキンググループの取組紹介・・・

＜小5・**小6**・中1 ワーキンググループより＞

6月に、小6の年間指導計画（生活単元学習）の検討をしました。小6は中心単元としてゲームを取り上げ、準備活動や友達を招待する活動をする計画を立てています。意見交換を通して、効果的に学部間の連携につなげようとしている取組を紹介します。



招待する活動の前に、中1の生徒がゲームを体験し、アドバイスをしたらどうか？



小6児童にとっては、先輩

先輩すごいなあ

後輩のために！



中1生徒にとっては、後輩

「招待する」ではなく、「アドバイスしてもらう」展開にすることで、小6児童にとっては関わりを通して「あこがれの中学部生」の存在ができ、中学部への進学をより身近に感じるができるのではないのでしょうか。中1生徒にとっては、来年度仲間になる後輩に対して、先輩らしく意見を伝えようとするのではないのでしょうか。

その他にも、学部を超えた連携、校内資源の活用が見られます。

- ・特別支援学校総合体育大会に向けて、中学部・高等部合同練習を実施しよう！
- ・小4の生活単元学習ではカフェで友達をもてなす活動を実施。
⇒導入として、高等部食品加工班「喫茶みどりの風」に行き、実際にもてなしてもらう体験をした。

地域での活動はもちろん、校内にも活用できる資源はたくさんあります。子どもたちの「なりたい」「やりたい」を増やせるよう、大いに活用しましょう！